

きてみてのんほいパーク！とことん楽しむ植物園

- 日時 令和7年2月8日（土）14時から15時
- 場所 中央図書館3階第2・3会議室
- 豊橋市図書館「知の伝道師」No.24 公益財団法人 豊橋みどりの協会
- 内容 豊橋で育つ美しい花や珍しい植物の他、講師が愛する植物たちの魅力や季節ごとの注目ポイントを、豆知識とともに紹介した。

東三河地域唯一の公立植物園「のんほいパーク植物園」を管理し、花の配布や公園での植栽等市内の緑化を進めている公益財団法人 豊橋みどりの協会。今回、講師として樹木医の河邊さんに植物の魅力などを紹介していただきました。直前まで雪が舞い、足元の悪い中ではありましたが、24名の方にご参加いただきました。



植物園と植物の魅力を伝え、新たな視点で植物園を楽しんでもらえる機会を提供したい！

と、180ページを超えるスライドを準備し講座に臨んだ河邊さん。早速、植物にまつわるクイズを出題してくれました！「地球上のいきもので、植物は全体の■%か」参加者はうーんと考えながら、ある方がほぼ正解を言ってくれました！なんと、**80%が植物で、人間はわずか0.01%**だそうです。植物は身の回りにたくさんあり、いつも目にしているので、そのすごさや大切さを伝えたいと、日頃から河邊さんたちは**植物を知ってもらう、守る、育てる活動**に取り組んでいます。

講座では、**2,000種 66,000点ある植物園の植物**の中から、1月から12月まで季節ごとの特徴的な植物とそのエピソードを、鮮やかな写真を使いながら紹介しました。愛知県の木“ハナノキ”は、カエデの仲間ですが絶滅危惧種になっており、自生するものは地球上で長野・岐阜・愛知の県境あたりでしか見られないそうです。このような、**豊橋だけでなく、世界・全国的にも珍しい植物が、植物園の中で多く育っています**。参加者からは、

植物園に行っても見逃していた植物があったことを知りました



植物園に毎月訪れてみたいと思いました



という感想がありました。河邊さんは「**植物を好きになると、散歩が楽しくなる。**」と講座を締め括りました。参加者には、最後に大清水苗園で育てられた花苗をプレゼント！1年を通して、2,000種の植物と出合える場所・のんほいパーク植物園に、ぜひ足を運んでみてください！

